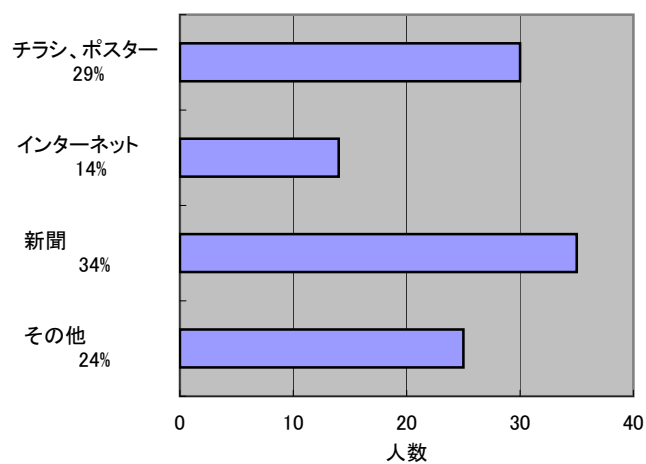


シンポジウムに関するアンケート(2011年月23日実施)

Q1. 本イベントを何でお知りになりましたか？

1)チラシ、ポスター 2)インターネット 3)新聞 4)その他

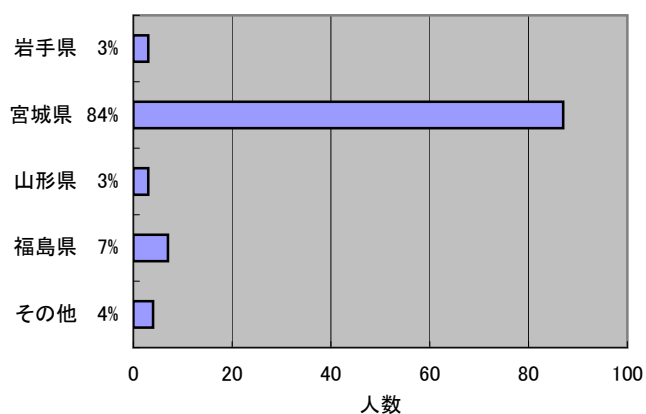
図1 シンポジウム情報入手先



Q2. あなたのお住まいの地域を教えてください。

1) 岩手県 2) 宮城県 3) 山形県 4) 福島県 5) その他

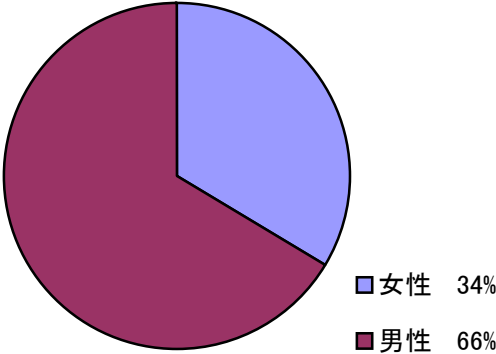
図2 参加者の居住地域



Q3. あなたの性別を教えてください。

- 1) 男性
- 2) 女性

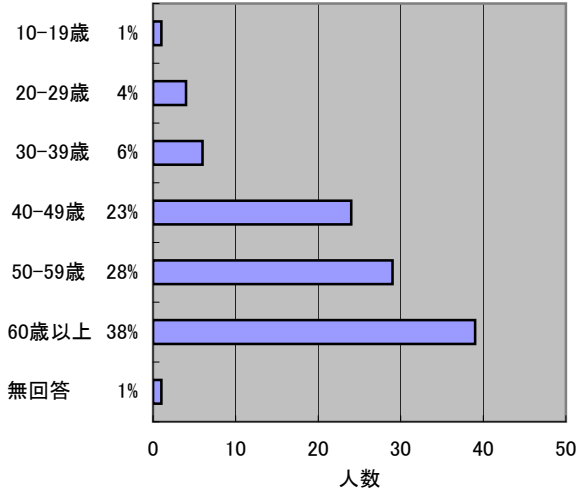
図3 参加者の性別



Q4. あなたの年齢を教えてください。

- 1) 10-19歳
- 2) 20-29歳
- 3) 30-39歳
- 4) 40-49歳
- 5) 50-59歳
- 6) 60歳以上

図4 参加者の年齢分布

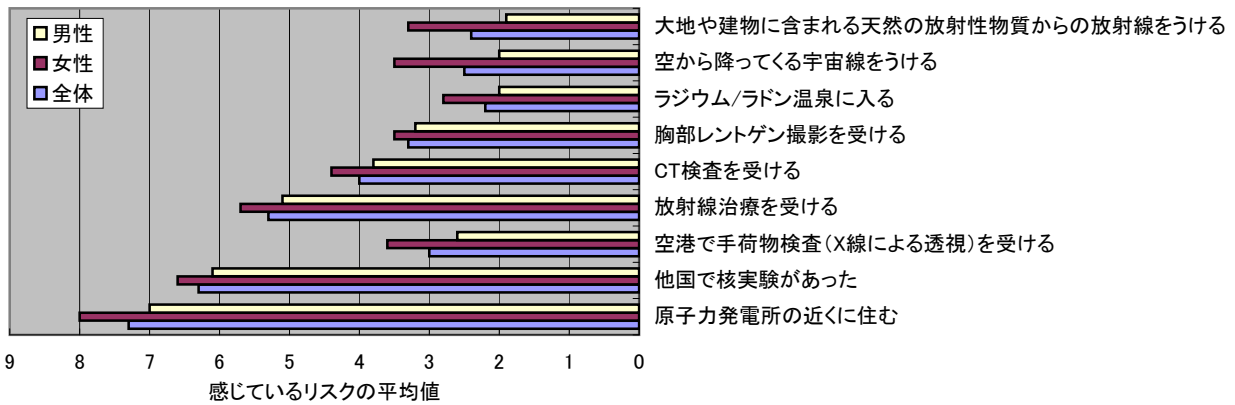


Q5. 私たちの身近には様々な放射線があります。以下に記載されている9項目の事柄は、いずれも何らかの理由で放射線や放射性物質と関係のあるものですが、それぞれの項目について、あなたがその行為を行う、或いはその状態になった時に、自分の健康が損なわれる「危なさ(リスク)」の大きさを、あなたの「感じ」で判断して、記入欄の数字の上に丸印で記入してください。

— 放射線にさらされる事柄一覧 — (回答欄)

	←0 危なくない										10→ 危ない	分から ない
a.大地や建物に含まれる天然の放射性物質からの放射線をうける	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
b.空から降ってくる宇宙線をうける	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
c.ラジウム/ラドン温泉に入る	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
d.胸部レントゲン撮影を受ける	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
e.CT検査を受ける	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
f.放射線治療を受ける	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
g.空港で手荷物検査(X線による透視)を受ける	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
h.他国で核実験があった	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
i.原子力発電所の近くに住む	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
例	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	

図5 様々な放射線源に対するリスクの感じ方の違い(性別で比較)



Q6. 私たちは日常の生活において健康を脅かす様々な危険(リスク)に囲まれています。以下に記載されている10項目の事柄はいずれも私たちの健康にとって何らかのリスクがあるものですが、あなたの「健康にとってのリスクの高い」すなわち、「危なさの大きい」順に並べてください。これらの行為や状態が持つ「一般的な危険性、危なさ」について順位をつけて判断して下さい。例えば、「タバコ」の危なさについては、あなたがタバコを吸っているかどうかにかかわらず、「タバコを吸うこと」の危なさを、あなたの「感じ」で判断して下さい。

— 健康にとってリスクの高い事柄 —

(回答欄)

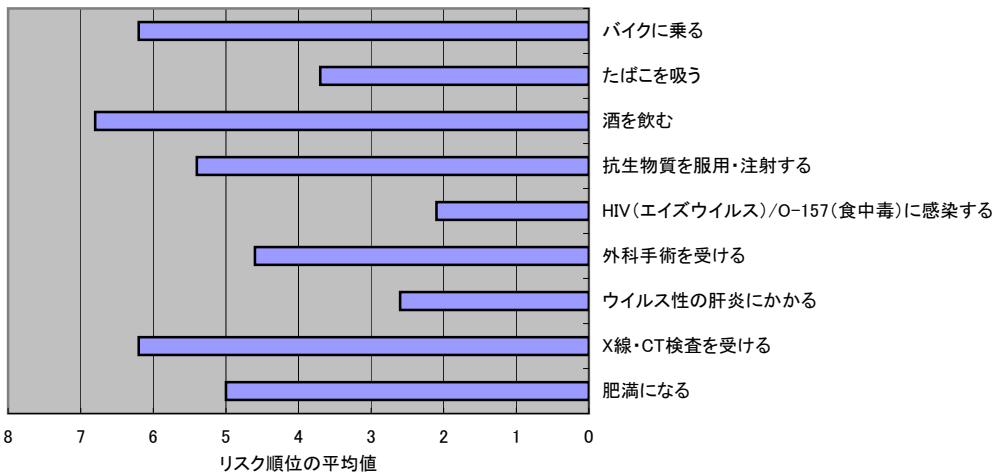
- a. バイクに乗る
- b. タバコを吸う
- c. 酒を飲む
- d. 抗生物質を服用・注射する
- e. HIV(エイズウイルス)/O-157(食中毒)に感染する
- f. 外科手術を受ける
- g. ウイルス性の肝炎にかかる
- h. X線・CT検査を受ける
- i. 肥満になる(太りすぎ)

順位	記号
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	

↑ 危ない

危なくない ↓

図6 様々な健康リスクに対する感じ方の違い



コメント

A 今回の討論会に関するコメント

I. わかりやすさ

- 1.特に質疑応答での内容が、わかりやすく、身近でよかった。各先生の一般市民の立場に立っての説明にとても感心しました。
- 2.テキストがありましたので分かりやすかったです。
- 3.保高先生のご講演がとてもわかりやすく内容も濃く。知りたい内容でした。
- 4.おもしろかったです。応用物理ときいて 難しいかも…と思ったのですが、放射性物質について学びたかったので参加しました。難しい部分も少しありましたが、それでも各先生方、わかりやすく、しかも各々あの時間で発表されるとは…すごいです。
- 5.各先生方よりわかり易い話をしていただき、一般人でも理解しやすい内容であり、大変有意義であった。
- 6.特に質疑応答での内容が、わかりやすく、身近でよかった。各先生の一般市民の立場に立っての説明にとても感心しました。
- 7.一般人用の資料も作成され、内容が理解しやすく感謝しています。
- 8.比較的わかりやすいシンポでした。
- 9.質疑応答の答えはとてもわかりやすく有意義でした。専門的ながら、一般にわかりやすかったので、また同じような公開シンポジウムの開催を希望します。
- 10.専門的な難しいことをわかりやすく説明してくれて来て良かったと思いました。
- 11.今日のシンポジウムは理解しやすく、資料も分かりやすかったです。
- 12.非常に組織的な分かり易い内容で、知識が整理できて大変ありがたく感謝致しております。
- 13.ほぼ理解できる内容であった。

II. 運営

- 1.司会進行などスムーズでよかった。
- 2.梶谷先生のお話が19pの部分から時間の都合でなくなったのは残念です。(一番聞いてみたい部分だったので)
- 3.時間的に長いかなと思ったのですが、1人40分づつということでその間は集中してきけることはできました。しかし、もう少しじっくりききたいと思いました。色々な分野からということで違う立場から聞けることはできましたが、2人づつ、講義の時間を多めにが良いとおもいました。
- 4.質問を打ち切られたのには失望します。
- 5.時間が短くて最後まで先生方の話が聞けなかったことが残念です。とてもわかりやすい内容で素人の私でも理解しやすい内容でした。
- 6.各公演の先生方の講演時間が足りなかったのでは。専門的な分野からの御講演で大変勉強になりました。
- 7.大変おもしろかった。非常に残念なのは、御一人御一人の時間が短かった。分割開催でよいから、もう少し長い講義の時間が欲しかった。特に、梶谷先生の話をもっと聞きたかった。
- 8.質疑時間もう少し長ければと思いましたが、1時間もありましたので感謝申し上げます。
- 9.先生方に、人で時間を知らせるより、大きなタイマーを役立てた方が良いと思います。
- 10.会場が寒かった。
- 11.講師の時間が足りなかったので余裕が欲しかった。分野が分かれてよかった。リスク等の説明がもう少しほしかった。
- 12.会場も駅近で便利でよいです。

Ⅲ. 今後への要望

1.大変貴重な催し、ありがとうございました。

私は昨日の河北新報の小さな記事でたまたま知り参加させてもらったのですが、もっと宣伝が広く行われれば、より多くの方が参加されたのではと感じ惜しい気がしました。

パンフレットの内容も素晴らしく、家に帰って改めて熟読したいと考えております。

2.日常生活において、注意すべき場所等について知りたいと思った。

3.このようなシンポジウムを何度もいろいろな処で催してほしい。

4.非常によい試みだと思います。もっと早く一般向けに行われるべきだと思いますが、日本全体が放射線や原発事故の影響に関し、興味関心が薄く、無知であったことを思い知らされています。何度となく、開催されることを希望します。

5.たまたま紹介していただきましたが、もっと宣伝があつてよかったと思います。

6.これからも刻々と変化する、今回の震災から起こりえる事を議題に取り上げてほしいと思います。

7.今後継続的にお願いしたいと思います。

8.このような時だからこそ、このような大変貴重です。(科学が人間に対して何が出来るかという点で)

9.最新の情報(わかった時点)を開示してほしい。このような研修を受け、事実をうけとめ、どう生活、生きていくかは個々の課題。

10.4人の先生方より、非常に有意義なお話をいただき、とても良かったと思いましたが、質疑の時間が急ぎ足であると感じました。とても内容の深いシンポジウムと感じました。今後も継続して同内容について、シンポジウムの開催を希望します。

11.専門家が信じられなくなると、宗教やデマゴグに走り易くなるので、恐ろしいことになる。考えない人間を多数生むもとなる。専門家の立ち位置が分かるよう何度もこのような会を開いてもらいたい。

12.流言蜚語、風評被害についても講演があればいいと思う。

13.多くの一般市民が基本的な知識情報を得られるように、放射性物質に関する書籍を揃えた図書ギャラリーを東北大で作っていただければと思います。

14.臨床のお医者さんのお話とか取り入れていただきたいです。

15.すぐくおもしろかったので、ぜひまた企画してください。

16.福島や、他地域(別の支部ですが)でも、このような会をやってほしい。

17.素人であるからこそ、不安を抱きそれを解消したい。今後も同じ機会を願います。

18.政治に対する科学者はどうあるべきか、科学者の役割、使命についての討論会。

19.若い母親や一般の主婦を対象に企画してもらえると有難い。

20.このような行事を頻繁にしてほしい。

21.原発の問題に対して、解決の道筋がわかってきたら知らせてほしい。自分たちでできる放射線に対する防御法について知りたい。

22.中立的な立場から今後もこのような公開シンポを是非継続していただきたい。

23.福島原発事故のデータをもとに、再度、次回に、シンポジウムを開催してもらいたい。

24.具体的なことを情報として流してくれるとありがたいです。例えば、宮城県の土壌や野菜や食べ物についてとか。

25.このような公開シンポジウムを設けてほしい。

26.諸外国に比べると一般人が得ることができる情報が少ないように思います。今後も定期的にこのような機会があれば、子ども一緒に参加させたいです。

27.定期(半年)的にその時々最新の状況について同様のシンポジウムを開催していただきたい。

28.毎年でなくても良いので、定期的に開催していただくとありがたい。(2年に1回程度で良い)

29.手軽な測定機器の展示、購入方法などをガイドしてほしい。

30.原発をすべて廃止したときの社会的・経済的リスクと逆に継続した場合はどうなるのか、政治家任せでなく、学術的に専門的分野から研究してほしい

今後新しい知見が得られた段階等節目節目にこのようなシンポジウムを是非開催してほしい。

31.特にナシ。あるとすれば地震についてのシンポジウムがあれば、参加したい。

32.放射性物質に関して、多方面からの講義を、今回のようにしてもらえたら良い。これによらず、大学で研究していることを、わかりやすく説明してもらえたらうれしい。

33.今後得られた知見をベースにした発表をして欲しい。放射能への心配はずっと今後も続くので、シンポジウムも定期的に催して欲しい。

34.福島第一原発事故が終息するまで継続的にシンポジウムを開催してください。

35.知識レベル毎に、何度も開催して、国民全体が理解できるようになるように、是非続けていって欲しい。(全国で)

- 36.又シンポジウムが開かれる時は、ぜひお知らせください。
- 37.放射能の問題はずっと続きます。その時に応じたシンポジウムを定期的にあつたらと思います。
- 38.内部被ばくを防ぐ方法について知りたい。特に子どもに対しての。
- 39.その後の福島第一原子力発電所の人体への影響度や原子炉収束状況等再度シンポジウム開催をお願いしたい。
- 40.学問と人間の生存。健康の為の研究に強化して欲しいと思います。
- 41.もっと実生活に活用できる内容であってほしい。(体内被曝を最大に防ぐには・・・?)これからの子供達が注意すべき点など……
- 42.あまりに風評被害的情報が多い。今日のような情報をマスコミなどを通じて大いに発信していただきたい。(ただし、保高先生の講義は更に対策レベルを高める必要がある)
- 43.実際の生活の上で心配なことを具体的に教えて頂きたい。食べ物の話を特に知りたい。(米、魚について)公開シンポは誰が対象なのか、もっと身近に特に子供をもつ年令の親とか、対象にわかりやすく、ききやすい、(託児つきなど)公開シンポをこれから、企画して頂きたいです。今回は平均年齢が高そうで…。時間に余裕のある人はいつでもどこでも行けますが。
- 44.大変役に立ちました。ありがとうございます。またやって下さい。
- 45.原発問題に対して解決の可能性のある方法や方向性の話が聞けるとよかった。放射線を、物理的に強制的に、中和や無害(消去)にする方法はないものでしょうか?多方面な分野の先生方の話がきけたのはよかったです。
- 46.物理、工学に限らず、政治、社会学など総合分野を含めた全体的な横断的なシンポジウムを構想してもらいたい。
- 47.とてもいい試みだと思います。今後とも、継続的に取り組んでいただければと思います。
- 48.専門家による専門の話はしやすいと思いますが、専門家がよりわかりやすい内容で話す努力をお願いしたいです。
- 49.内容は大変興味深いものだと思うが、用語の使い方、話すスピード等、今回はあまり一般向けとは感じなかった。誰をターゲットに、何を一番伝えたいのかもっと明確にしたらさらによかったのに…としましたが、参加させていただけて、良かったです。ありがとうございます。
- 50.放射能に関することはタブー視されており、これまでよく分からないことが多い。専門的意見をふまえこれからのエネルギー問題をどうすべきか、これまで作って来た原発を再稼働させるべきかという話も聞きたい。
- 51.このような有益なセミナーをくり返し開催し市民に周知して欲しいと思います。
- 52.・現在おかれている宮城県内の具体例などを教えて欲しかった。(どこにどれ位の放射線が拡散したか)
・「原発リスクについて……」ちょっとちがうのでは??? 知らない
・期待していた内容ではなかった。残念!!

IV. 全般的な評価・感想

- 1.多方面に亘る講演で、貴重な情報・考え方をご教授戴きました。有難う御座いました。
- 2.大変に良い企画でした。ありがとうございました。
- 3.大いに参考になりました。
- 4.タイムリーだったので興味を持ちました。専門的で理解しにくいものもありましたが、こういう時でないといけない内容だったので、参加してみて良かったです。
- 5.大変結構な企画です。学界から社会に対する説明は大変ありがたいことです。
- 6.中立な立場からの正確な情報を提供していただきありがたい。
- 7.ありがとうございました。
- 8.大変興味深かった。対象別にできれば、色々な人がもっと知りたいことが分かったと思います。
- 9.結論は何をすればいいのかよくわからないという本音が聞けた。チェルノブイリよりも大変ということがよくわかった。
- 10.どれも良い内容なので、パネリストを3人ぐらいに絞って、じっくり聞きたかった。
- 11.この時期にこの種の題目で専門家の方の意見を拝聴できるのは非常に良かった。先生方も日頃の研究成果をもっと紹介してほしいし、国としても紹介すべきであると思う。研究のための研究の時代ではないと思っていますので学外でどんどん発信していただきたい。
- 12.とても良い企画であったと思います。
- 13.素人であっても、新聞や雑誌のみではなく、やはり専門家の話をちゃんと聞くべきだと思いました。

14.世間で大変関心のある事に対して、専門家の皆さんが解説をし、提言をし、市民に理解を得、学習する機会を作ることは大変よいと思います。ただ、私のような素人には、もう少しかみくだいた説明をもう少しいたり、事例をいれながら説明を聞かないとわからない点も多く、その点は不満でした。あと、確実に言えるところと(特に安全性の面で)不確実だが、可能性のあるところの表現をもっとはっきり聞きたかった。

15.対処に対する科学全般についての知識が得られました。

16.放射性物質等について、基本的なことがわかってよかったです。

17.今、知りたい情報がまとめられていて、とても良い機会でした。ありがとうございました。

いろいろな分野の先生方のお話がきけて多方面からの考えを知ることができました。

18.専門の学会が一般向けに今回の問題についてのシンポジウムを開くことの意義は大きいと思われる。特に哲学(倫理)を含む広い分野の話があり興味深かった(難しい部分も多かったが)

19.南相馬市に住んでおり、事故当初まったく情報の無い中、家族を含めた身近な人々の放射性物質からの初動防御対策が取られなかったのは、いまさらながら残念のきわみである。現在に至るまでには、東電説明会ははじめ、多くの講習会等を聴講したが、冷静な判断ができるものは少ないように思っていた。本シンポジウムは、そのような中で開催されることを知り、期待して参加することとした。

20.はじめてのシンポジウムに参加。放射能に対する理解がある程度理解出来た。

21.本を読む、ネットで調べる、TVを見る等の方法で知識情報を得るのとは違った感触がある。こうした専門家によるシンポジウム(一般人向け)は有意義と思う。

22.素晴らしい講演をありがとうございました。

23.除染については参考になった。が、一般家庭では難しい。後援が宮城県、仙台市というのが？

24.新聞、テレビでは説明されない内容でしたので大変勉強になりました。

25.とても、ためになりました。又、勉強したいです。

26.内部被曝に関する話をうかがいたかったです。子どもが食料に対して、とても反応しているからです。

27.専門家の先生の御話が大変勉強になりました。「放射能の正しい知識を知って、必要以上におそれずに」と言われてきましたが、テレビや本の情報ではどれが正しいか、どれを信じていいか、迷う毎日でしたが、今日、とてもスッキリしました。私の住む地区(緊急時避難準備区域)は除染、除染といっていますが、素人が簡単にやるものではないという事も、よくわかりました。

28.全員が中立なの？評論家？どんなスタンスで講師えらんだのでしょうか。情報量多い。

29.研究者、科学者が、政府や行政にきちんと公開の形で意見を言うべきです。例えば世の中に安易に考えられている除染のことなど。あたかも火山灰の洗い流しのようです。

30.リスク評価の分野の講演もあると、なお良いと思うが、全体としては、やや長時間すぎる印象があった。アンケートの結果も興味深いので、できれば結果をインターネット等で公開して欲しい。

31.保高氏の説明は、パンフレットやスライドとの整合性が少なく、分かり辛かった。他の方の話は大変分かり易かった。

・参加者が少なく、勿体なく感じた。

・空席が大変多くもったいない。次回は満席になることを期待します。

・報告書を作成した際は、送っていただければ嬉しいです。

32.OK

33.放射性物質に対する知識が身につき、日頃の不安の解消に十分に役立つものとなりました。

34.有意義な講演でした。

35.不安な方が一部いる。どのように正確に伝えるか難しいです。今日のシンポジウムはその点で参考になりました。

36.個人的に、興味深く聞けるものと、そうでないものの差があった。

(解りやすさ、聞き取りやすさを含めて)

質疑応答では、色々な立場からの質問があり、参加者の興味の深さがうかがえた。

解りやすい説明が多く、良かったのではないかと。

37.総合的資料を頂きありがとうございました。

38.大変良かった。

39.とても良かったと思います。少しですが、聞き取れない部分があったように思われます。

40.除染についての検討の方がよかったのではないかと

41.私は大満足でした。！！

42.応用物理学会が、このような催しで社会性を発揮しようとした努力を買いたい。

43.大変良かったと思います。

44.除染に対する考え方についての危険性を知り、今後慎重にする必要性を感じました。

45.とても良いタイミングでのシンポとと思いました。学会や研究者の方々の真摯な社会に対する姿勢を感じることができました。益々のご活躍をお祈りします。

46.東日本大震災後の原発事故がきっかけで、放射線被ばくについて関心を持つようになった。しかし、それについて知識を持たないので、テレビニュースや新聞などからの情報を判断の基準にするしかなかった。しかし、色々な立場の人の様々な見解が飛び交い、どのように考えて生活していくのがよいか迷っていた時に、このシンポジウムのことを知った。研究者でない一般人が今回の講演を理解できるとは思えないが、情報を与えられるのを待つのではなく、自分から知ろうとアクションを起こすことが大切なのではないかと思っ

47.ちょっと難しかった。

48.地震の恐怖はもちろん、まだまだ余震がつづいているのでなくなりません。しかし、それよりも原発の収束が、現実問題として遅いです。私達年寄は仕方ないですが、若い人、子供達が可哀想です！早く安心出来る様、皆様の研究と、行動を期待しております。今回のシンポジウムを計画して頂き、ありがとうございました。勉強になりました。

49.大変有意義で、おもしろかったです。

50.ありがとうございました。

V. 講演に関する質問・コメント

1.直江先生の話をもっとゆっくり聞きたかった。「緊急時のリスクコミュニケーション」について、一般市民が身に着けられる能力、トレーニングは、何か、あるのでしょうか？

2.梶谷先生の講演は非常にわかりやすく、おもしろかった。できれば、とばされたスライドについても詳しく聞きたかった。

3.直江氏の講演は今回のシンポに必要であったのか、疑問？

4.放射線医学についての内容というよりもリスクコミュニケーションだった。

5.直江先生の話は難解だった。

6.大変参考になりました。最後の講演は理解しにくかった。倫理面から科学者の責任等にもっと切り込んで欲しかった。

7.(このすばらしいシンポを知らない人が多いと思いますの)で広報の仕方を考えてほしい

保高さんの話は早口でよくようがないのでわかりにくかった。—研究したこともないせに内部ヒバクのことを言うな！直江さんの話を期待したがわかりづらい残念です。しゃべる前にわら半紙にかいてみるとよいです。ゆっくり話せばわかるのにまるで機関銃でしたので話し方の研究をしないとあなたの折角の研究は役に立たないことになります—中味は大変良いです。がんばれ。

8.放射線の種類や、人体への影響等が具体的に理解できとても有意義でした。直江先生のお話がとても良く、原発や放射能のリスクを考える上でとても良いヒントをいただきました。

9.・被曝量の「線量限度」の根拠がわかり、良かった。

・低線量域放射線がDNAレベルでどのような影響を与えているのかがわかり、良かった。

・内容的にわかりやすくバランスのとれたものでした。

10.メディア等で色々情報は得ていますが、今迄、これ程の原発による影響が出た事は少なく、データが少ないのでしょう。結局低線量による生体影響はまだよくわかっていないという事の再確認ができました。今後とも研究の方宜しくお願い致します。

11.TV、新聞等で当然のような表現で報道されていますがシーベルトも、ベクレルも、単位も、危険度も何の解説もなく全くわからないまま目にしています。それらの事をわかり易く解説していただき有意義でした。できれば日本の原子炉を作る段階で関与して欲しかったのですが残念ながら研究室の中の理論に偏っていたと思います。

12.4人のパネラーのやる気に差が見られたのが残念であった。

何を伝えたいのかわからない講演(梶谷氏)もあったが結論を明確に示していた講演(小野教授、保高氏)もあり、このシンポジウムに来た目的は概ね達せられたと思う。

13.直江先生のような立場の方の発言も聞いて良かったです。

14.第2部が分かり易かった。リスク事例の出し方によって、素人がだまされ易いことが分かった。(自動車と原発の例が不適當なように。)児玉先生の例は良かった。

15.直江先生の話はサイエンスカフェ向きと思う。しかも一方的なセミナー形式ではなく聴衆との双方向的なやりとりを主にした形式にして欲しい。

B その他

1. 企業や技術者が自らの論理、考え方で活動しますが、セルフチェックには限界があるため、企業はリスクとその対応について公開して国民の投票権などのチェックを受けるシステム作り(内部統制システムの構築と同様)が必要ではないかと思いました。
2. 地球上の生命全体を研究していきたい。
3. 広島原発時に玄米や味噌を食べてた人は、影響が少なかったと本で読みましたが、こういうことは信憑性があるのでしょうか。
4. 放射性物質どこでどうやって作るの、大熊町や女川で作ってるの？
 - ・病院に放射性物質が保管されているが地震で津波でどうなったの？(ドクロマーク)
 - ・日本には人体実験(広島)があった60年経てガン、他データはどうだったの？世界に共有できないの？
 - ・安全対策チームは世界の原発事故時のビジネスに活用できるの。世界中に何百もあるのでしょうか。日本世界の原発の位置は機密なの？
 - ・ジェット気流で1Hで日本に届く時代ではないの
 - ・気流の関係世界に対する安全対策も聞きたいです。(北でも爆発はあるの)朝鮮。
5. 医療にはなくてはならないもの。
今のこの時も忘れず放射線と、どう今後つきあっていくのが課題。
便利だというだけかたづけ→命を便利どちらが大切なのか？
自分がどうすればよいのかをみきわめ、少しでも住民に発信できれば・・・？いいかなと。
6. 私は、文学部出身なので、日々ニュースには目を通していますが、安易に脱原発というにも、今の原子力以外のエネルギーの研究の状況も分からないので、そうした研究の状況についても、知りたいと思いました。
7. 低線量放射線を被曝している地域に住む人は生体影響の解明がされていないので、どのように生活すれば良いのか不安なのではないか？
8. 政府や東京電力へ、福島第一原発の事故収束対応方等、先生方から(応用物理学会)提言あるいは助言等していることがあれば知りたい。
9. 国民にデータを公開して欲しい。水素爆発時にスーパーでの買い物のため外に立っていました。子どもたちもたくさんスーパーの前に立って待っていました。国民の健康を守ることを考えてほしい。